

平成21年度 延岡青朋高等学校

学校関係者評価（定時制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない）

重 点 目 標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価（C）		改善策（A）	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
1. 学ぶ意欲 の向上	①個に応じた指導の工夫や観点別評価の研究実施	11 月 16 日～20 日に公開授業週間を実施し、研究をおこなった。平常点に態度評価（出席点）をいれた。	3	3	教科担任への働きかけを継続。教科毎の反省の時間（教科会）を設定する。習熟度や T T を取り入れる	4	3	個々の教育指導でいろいろと工夫され、実践されてよい成果がでている。
	②わかる授業・楽しい授業の追究	作業的学習や体験的学習の事例研修会を 6 月 9 日に実施し、年度末に事例集を集約できた。	3		職員全体や各教科の各研修会を充実させてアイデアと元気の出る会を実施する。	3		
	③キャリア教育の充実	進路講演会 3 回実施、D グループを総合学習でキャリア教育 15 回実施。インターシグプ 1 2 名参加。	3		生徒の希望進路の早めの決定のための情報提供や職場体験実施事業所の開拓。	4		
	④資格・検定取得の推進（商業関係、漢検等）	資格取得の実施と積極的な参加促進。商業科は授業で義務づけ。	3		資格試験の上級受験者を増やす試み等、義務づけ等。	3		
	⑤読書の推進	前期と後期各 1 回、読書週間を実施し、書籍に触れる機会を設けた。総貸出数 720 冊一人当たり 4.86 冊（1 月末現在）。昨年、4.1 冊。	3		特定な人ではなく多くの生徒に利用してもらえるよう読書週間、年間を通した読書啓発や特集等紹介など広報に工夫する。	3		
2. コミュニケーション 能力の育成	①話す力・書く力（自己表現力）の育成	志望理由書については、指導が適切に行われて成果があがった。	2	2	面接指導については、全職員で当たるので、職員研修を実施し工夫を図る。	3	3	
	②就職・進学での面接作文技能の向上	面接・作文担当者を全職員に配置し細かな指導で成果がでた。	2			2		
3. 思いやり のある優しい生徒	①学校行事を通じた自己存在感の育成	定通体育大会・生活体験発表・文化祭・スポーツデー・生徒会役員改選などを通して「できる・わかる・認められる」を育成。	3	3	生徒会が中心となって実施する学校行事をさらに充実させ、生徒自らが積極的に参加できる環境を設定する。	4	4	学校行事に生徒たちが自主的に頑張っておられる。
	②基本的な生活習慣の確立	生活体験調査を実施。学級担任からの情報を集約し、家庭訪問や日常指導に生かすことができた。	3		基本的な生活習慣の確立について、全職員による組織的な巡回指導等を実施。	4		
	③集団生活でのマナー育成	全校集会時でのマナーは年々よくなってきている。出席番号順の着席はしっかりできてきた。	3		これまでの指導を継続して実施する。体育館入口での靴並べ等が課題。	4		
	④生徒会活動・交流会。ボランティア活動の推進	定通生徒会交流・宮崎東高校との生徒会交流を実施。延岡市の福祉祭りに生徒会がボランティア活動として参加。	3		生徒会役員だけの活動にならないよう、各 HR の委員による活動へとつなげていく工夫を図る。	4		
	⑤心身の健康の保持増進	健康診断の実施はどの項目も 100％に近くなった。保健だよりや授業で指導。心・食育が課題。	3		これまでの指導を継続して指導。身体計測・体力テストも体育館にて継続実施。	3		

平成21年度 延岡青朋高等学校 学校関係者評価（通信制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない）

重 点 目 標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価（C）		改善策（A）	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
１．学ぶ意欲の向上	①単位修得率（６０％以上）の向上	レポート添削・返送を迅速化と、教科担へ添削返送状況の周知。学習意欲の継続に効果的で６４％の修得率達成。	４	２	教科担任への働きかけを継続。添削内容をより充実させた上で、迅速な返送を目指す。	４	３	学ぶ意欲の向上の目安である修得率が６４％を達成し、取り組みの成果が良く上がっている。今後一層の頑張りを期待する。
	②わかる授業・楽しい授業の追究	九州内他校とレポート交換。教科打合せの時間確保、全教科に定着せず。	２		取り組みやすいレポート課題作成、魅力あるスクーリングについての研修を実施。	３		
	③キャリア教育の充実	進路講演会２回実施、講話内容形態等良好、出会者４１名・２５名	２		周知徹底と生徒の進路希望を把握し個々に呼びかける。	３		
	④資格・検定取得の推進（商業関係、漢検等）	資格取得支援学習会の実施と「通教」で呼びかけた。参加５名。	２		資格試験の受験を増やす試み、例、義務づけ等。	３		
	⑤読書の推進	図書室利用手引き、貸し出し案内などで利用者が急増（１５名）。教科からのアプローチは不足。	２		図書室は現在の取り組みを継続。教科担が授業の中で意識的に図書にふれる。	３		
２．コミュニケーション能力の育成	①話す力・書く力（自己表現力）の育成	志望理由書については指導が適切に行われ成果があがった。	２	２	登校型の指導を予め生徒に示し、普段の指導を重視。	３	３	
	②就職・進学での面接技能の向上	希望者全員に面接担当者を配置し細かな指導で成果をあげた。	２		作文コンクールなどに参加、各教科での取り組みを工夫。	３		
３．思いやりのある優しい生徒	①学校行事への参加促進。	「通教」「連絡便」「ポスター」で呼びかけた。特に協力校の生徒参加が少ない。球技大会１２０名・体育祭９０名・校外研修４５名。	２	３	さらなる呼びかけ。特別活動の出席時数取り扱いの変更、土曜スクーリングの実施、送迎バスの準備。	３	３	
	②部活動の充実。	年度初めの顧問委嘱、野球部の新設、日曜放課後練習。全国大会にバレー、卓球、柔道、剣道が出場。	３		披露、発表（作品展示など）の場の設定。定通大会参加以外の部の活動の活性化。	３		
	③挨拶励行とマナー育成。	挨拶は率先垂範、返事が返ってくるようになった。入退室と言葉使いの指導が課題。	３		これまでの指導をより計画的、具体的に継続する。	３		
	④教育相談の周知と充実。	学年会で面談、家庭訪問を計画。保護者の声「花想便り」送付、地区延通会前２８名・後１９名参加。	２		まず情報を、玄関訪問から。Ｓ・Ｒ状況とリンクした声かけ。相談室の増設。花想便り定期化	３		
	⑤心身の健康の保持増進	健康診断の実施８０％、保健だよりや授業で指導。心・食育が課題。	３		計画的に専門機関・医との連携で個別相談の時間の設定	３		